

2021年8月1日から2024年3月31日に、当院で分娩後1ヶ月健診をされる方へ

研究実施のお知らせ

研究の題名: 子宮形態異常合併妊娠における周産期合併症及び
子宮形態異常合併妊娠の有病率についての研究

研究期間: 研究機関の長の許可日～2025年3月31日

研究責任者: 山梨大学医学部生殖医療学周産期医療学講座 特任准教授 奥田靖彦

山梨大学医学部では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和4年4月1日施行)、匿名化された診療録等の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の目的と意義について】

子宮形態異常とは、胎児期の内性器の発達異常により、子宮が通常の形態とは異なる状態を指します。具体的には、内腔の形態異常である弓状子宮や中隔子宮、外観も含めた形態異常である重複子宮や双角子宮・単角子宮などがあります。妊娠中は様々な周産期合併症が起こり得ます。子宮形態異常合併妊娠においては、周産期合併症が起こりやすいとされ、中でも流産や胎位異常・帝王切開率などが増えるとされています。しかしまだわかっていない点も多い現状にあります。

今回当院で出産された、方にご協力いただき、子宮形態異常合併妊娠において起こりやすい周産期合併症についての研究を行いたいと考えております。研究を通して子宮形態異常合併妊娠の実態について理解することにより、今後より適切な周産期管理が行えると考えます。

【研究の方法について】

当院で分娩された方は、全員分娩後1ヶ月検診を行なっています。超音波検査で子宮復古を確認していますが、その際に子宮の形態の評価も行います。診療録を振り返り、統計学的な検討を行います。

【利用する情報について】

〈対象となる方〉

2021年8月1日から2024年3月31日に当院で分娩後1ヶ月検診を受診される方が対象です。

〈利用する情報・項目〉

情報:子宮形態評価のための超音波画像、診療録情報

なお、この研究に必要な臨床情報は、普段通りの診察およびこれまでの診療録より取り出しますので、あなたに負担がかかることはありません。

【情報を利用する者の範囲について】

この研究において取得する情報の利用者は、本学医学部生殖医療学・周産期医学講座及び産婦人科学講座の研究者のみです。

【試料・情報の管理について責任を有する者】

国立大学法人山梨大学

【個人情報の取扱いについて】

収集したデータは、誰のデータか分からなくした上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【利益相反について】

この研究の実施にあたり研究経費は発生しないため、この研究のために、企業等からの資金提供はありません。したがって、この研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反は存在しません。また、研究責任者及び分担研究者は、利益相反について本学医学研究利益相反審査委員会に申告し、適切な実施体制であることの審査を受けております。

【お問い合わせ等について】

この研究へのご協力は、あなたご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、あなたの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先まで、メール又は FAX でご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、あなたや代理人の方のご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は、以下までメール又は FAX でご連絡ください。

〈お問い合わせ等の連絡先〉

山梨大学医学部生殖医療学周産期医療学講座
特任准教授 奥田靖彦

メールアドレス: yokuda@yamanashi.ac.jp

FAX:055-273-1113